

令和6年度地域循環共生圏づくり支援体制構築事業 中間支援振り返りシート(2025.3)

活動団体の活動におけるテーマ

『西蒲区の地域課題を発掘し、解決するマルシェ』

活動団体の活動地域：新潟県新潟市西蒲区

活動団体名：YAKKOTE（やっこて）

中間支援主体名：新潟市



活動計画(概要)

地域循環共生圏の構築を通じてありたい地域の姿

**「やりたいときに、やりたいコトを、やりたいヒトと。」が実現できる地域。
情報/交流/場所/農産物/学び。全てがつながりシェアできる地域。**

地域に必要なプラットフォームの体制や仕組み

ローカルSDGs事業として取り組む内容

▶プラットフォームの体制

- ・繋がりたい/チャレンジしたいプレイヤー
- ・応援したい/サポートしたいサポーター
- ・繋がり場を提供するマネージャー

▶プラットフォームの仕組み(案)

- ・気軽に交流できるコミュニティ機能
- ・ハネモノ農産物をシェアするマッチング機能
- ・地域の情報を集約する情報機能
- ・起業を支援するファンディング機能

▶にしかんマルシェ

西蒲区内を回遊するマルシェイベント。多様な人々の交流を生み出し、プラットフォームの土壌を作る。また、イベント自体にワークショップ機能を持たせ、地域課題の解像度を高める。

▶プラットフォームの具現化

(仮称：にしかんSDGsコミュニティ)

マルシェで集めた地域課題をもとに、例えば農産物の需給マッチングや、地域イベント情報を集約するコミュニティを構築する。

地域の現状

【現状】産官学地といった領域で、西蒲区を舞台に活躍するコミュニティ資源は豊富に存在している。しかし、横の繋がりが希薄なケースもあり、活動の場所・資源・タイミング・効果には伸びしろがある。

【背景】YAKKOTEが西蒲区でジェラート屋の開業を支援した際、「公園や廃棄果物を活用したいが、誰にどう協力を求めるべきか分からない」という**繋がるまでのハードル**を感じた。

一方で、地域では**繋がりさえすれば**応援してくれるサポーターは多く存在することを感じた。

2026年度末の状態目標

- ・プラットフォームを通じて、地域資源が繋がりにあっている
- ・若者の流出抑制など、社会的な行政課題の解決に貢献している

2025年度末の状態目標

- ・プラットフォームを通じて生まれた事業や地域イベントが開催されるなど、地域に賑わいが生まれている
- ・プラットフォームの認知度が向上し、利用者が増加している

2024年度末の状態目標

- ・にしかんマルシェ・にしかんワークショップを通じて、地域資源や課題、ニーズが明確になっている
- ・プラットフォームが試行開始されている

■見立て

【活動団体の得意なこと】

- ・地元中之口地区でのマルシェ開催

【活動団体の不得意なこと】

- ・地区との関係性の構築

【中間支援のポイント】

- ・マルシェ開催過程で仲間を探す
- ・地域との対話の機会をつくる
- ・スモールスタート、実績作り

■打ち手 (緑のアイコン)

【仲間を探す】

- ・中之口地区以外でマルシェを開催
(地域住民との関係性を構築)
- ・にしかん未来BASEに参加



【地域ビジョンを描く】

- ・ワークショップ
(焚火を囲みながら)



【体制を整える】 【事業を考える】

- ・マルシェ開催時に地域課題洗い出し
のワークショップ開催



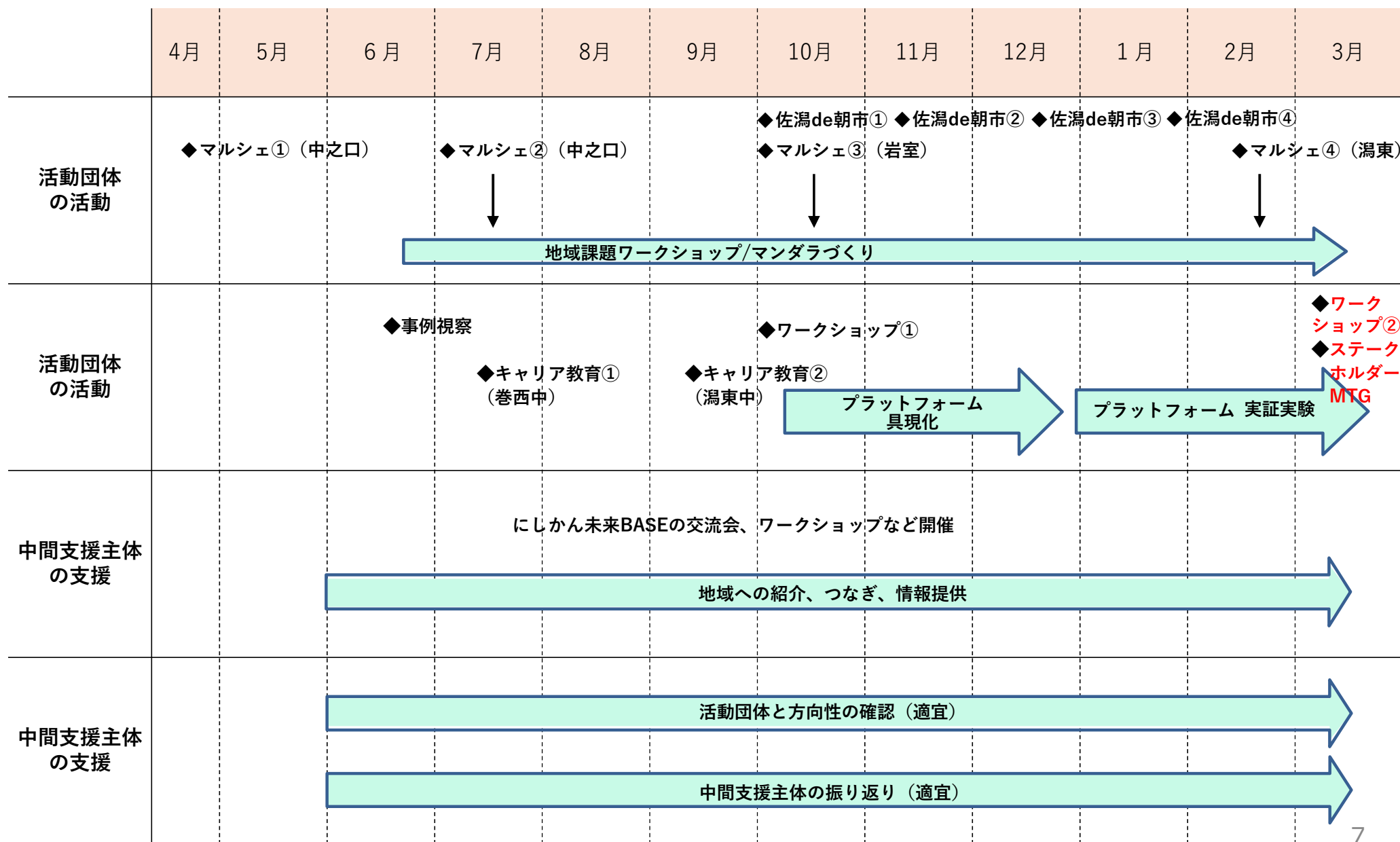
■中間支援機能の強化・振り返り

【獲得したいこと・考えたいこと】

- ・近年、地域課題が増えてきており、市が組織的に対応しきれない状態になることが懸念されるため、仲間を探す支援や、場を開くなどの支援をしつつ、自立した地域をつくっていききたい。
- ・また、自立した地域が、環境・経済・社会を統合的に良くしていくために、行政の持つ地域資源の情報を活用する場面があると思われるので、地域課題や地域資源を考えていく際に活用できないか、考えていきたい。

活動・支援のプロセスの振り返り

■R6年度活動・支援内容



活動・支援のプロセスの振り返り

■今年度、地域循環共生圏づくりのポイントとして注力したアクションサイクル①

仲間を探す

中間支援主体の支援

● 上記アクションサイクルの取組を活動団体が進めるにあたっての見立て

YAKKOTEの活動について認知度を高めていくことが必要と考えた。

● 具体的な支援内容（打ち手）

「にしかんワークショップ」について、各地域のコミュニティ協議会へ参加をお願いした。

● 打ち手による活動団体の変化（意識・行動・活動の進捗）

ワークショップの参加者及びコミュニティ協議会の口コミや評判によって活動が認知され、間接的に広まるような兆しが見えた。

● 中間支援主体としての気づき・成長

行政が間に入ることで、活動団体へ信用を付与し、地域の人たちへ安心感を与えることができると再認識できた。

活動団体の取組

● 活動名・時期

2030年の西蒲区を考える
「にしかんワークショップ」

10月12日（土）開催

● なぜそれを実施したのか（実施目的）

地域プラットフォームと関わりしろがある仲間をリストアップするため。

● 実施したことによって共生圏づくりにどのような変化が起きたか（活動団体自身の変化・周囲の変化等の共生圏づくりに関わる進捗）

人的ネットワークが広がり、事業主体となり得る人と接触することができた。

参加者に活動内容や想いを伝えたことで、関係性が深まり、地域プラットフォーム構築に向けた仲間づくりにつながった。

活動・支援のプロセスの振り返り

■今年度、地域循環共生圏づくりのポイントとして注力したアクションサイクル②

地域のビジョンを描く

中間支援主体の支援

● 上記アクションサイクルの取組を活動団体が進めるにあたっての見立て

初年度であることから「地域のビジョンを描く」フェーズにおいて、地域の人たちと意見交換をすることが重要と考えた。

● 具体的な支援内容（打ち手）

「にしかんワークショップ」について、各地域のコミュニティ協議会へ参加をお願いした。

● 打ち手による活動団体の変化（意識・行動・活動の進捗）

YAKKOTEとワークショップの参加者（各地域の人たち）に人的なネットワークが生まれた。

● 中間支援主体としての気づき・成長

行政が間に入ることで、活動団体へ信用を付与し、地域の人たちへ安心感を与えることができると再認識できた。

活動団体の取組

● 活動名・時期

2030年の西蒲区を考える
「にしかんワークショップ」

10月12日（土）開催

● なぜそれを実施したのか（実施目的）

活動エリアである西蒲区の地域資源・地域課題・ありたい未来について把握し、課題解決に向けた取り組みに繋げるため。

● 実施したことによって共生圏づくりにどのような変化が起きたか（活動団体自身の変化・周囲の変化等の共生圏づくりに関わる進捗）

ワークショップを通じて作成した地域マンドラによって、ビジョンの可視化が進んだ。

地域マンドラをコミュニケーションツールとして活用したことで、本取組への周囲の認知度が向上し、共感してくれる人が増えた。

活動・支援のプロセスの振り返り

- （特に前2スライドの支援を実施するにあたり、）今年度、力を入れて取り組んだ中間支援は？（中間支援機能チェックリスト.xlsxより上位3つを選んで記入）

協働ガバナンスの項目	中間支援機能	項目（番号）	支援をしたタイミング等
参加の誘発	プロセス支援	（１）	地域住民とのワークショップの準備
6 チェンジエージェント機能	プロセス支援	（２）⑧	日常的なコミュニケーションの中（主はMTGの時）
8 チェンジエージェント機能	問題解決提示機能	（１）①、②	日常的なコミュニケーションの中（主はMTGの時）

● 共生圏づくりを進めるために、活動団体の能力をどう引き出せたか

市役所が活動団体と地域をつなぐことで、不要なバイアスを取り除き、活動団体の地域内での活動がスムーズになるようサポートした。

● 中間支援主体として向上したと思う中間支援機能

- ・「協働ガバナンスモデル」への理解が深まった。
- ・市役所としてどのように地域づくりに関われるか、特に本庁、区役所、地域の関係性をどのように設計するか、の検討が前進した。

● R6課題だと感じたこと

上記、本庁－区役所－地域が連携した今後の地域づくりモデルの深掘り。

地域循環共生圏づくりに向けた次のアクション

- **地域循環共生圏づくりのために、どのような中間支援機能を発揮できるか。R7～中間支援主体として今後どのようにになりたいか。**

市役所の強みである、各部署の専門性（タテ・本庁機能）と、それらを地域に展開する区役所（ヨコ）という、守備範囲の広さを活かしていく。

活動団体が突き当たる障害に、各部署のリソースをもって柔軟に対応するとともに、活動団体の活動状況に合わせて、中間支援の体制も変化させていく。

R7年度は、当初の環境政策課と西蒲区地域総務課に加え、政策企画部、政策調整課を加え、統合的に取り組めるように体制を拡充する。

- **活動団体がアクションサイクルを回せるようにするための次年度の見立て・打ち手（具体的な支援策）**

・西蒲区内のプレイヤーやステークホルダーとのネットワーク作りは、順調に進めているように見受けられる。

・引き続き、地域の意欲のある人たちが集まる「にしかん未来BASE」という場を提供していくとともに、活動団体の取り組みを市（区）の広報媒体を使って周知し、支援する。

- **地方・全国事務局にサポートしてもらえると嬉しいこと**

活動団体の活動のアドバイスのほか、中間支援主体へのアドバイスもしてほしい。